

◆団体基本情報

No.	13	種別	株式会社	団体名	株式会社仙台港貿易促進センター		
所在地	〒 983 - 0001 仙台市宮城野区港一丁目 1 - 3						
電話番号	022 - 388 - 6710	FAX番号	022 - 259 - 6715	所管 部局	経済局 企業立地課		
団体ホームページ	http://sendai-port-faz.jp						
代表者職氏名	代表取締役社長 今野 順		設立年月日	平成7年12月4日			
資本金・基本財産	2,187,500 千円	市の出資額 (割合)	710,000 千円	(32.5 %)			
設立 目的	各種輸入関連施設の整備を行い、外国貨物の物流高度化・流通促進を図りつつ、仙台港周辺における貿易を促進することによって、地域経済の活性化及び住民生活の向上に寄与する。						
事業 概要	FAZ基盤施設（仙台国際港貿易ターミナル）の運営管理とそれに付随する事業						
評価対象決算期	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日						

◆人員等の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①常勤役員数	0 人	0 人	0 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	0 人	0 人	0 人
②常勤役員平均年齢	0.0 歳	0.0 歳	0.0 歳
③常勤役員平均年間報酬	0 千円	0 千円	千円
④職員数	3 人	3 人	3 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	0 人	0 人	0 人
⑤職員平均年齢	53.0 歳	54.0 歳	54.0 歳
⑥職員平均年間給与	3,969 千円	3,994 千円	4,161 千円

◆主要財務データ

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①営業利益	13,856 千円	10,563 千円	23,800 千円
②経常利益	15,226 千円	18,099 千円	25,844 千円
③当期純利益（税引後）	11,570 千円	14,384 千円	21,500 千円
④繰越利益剰余金	△ 856,972 千円	△ 842,589 千円	△ 821,088 千円
⑤利益剰余金	△ 856,972 千円	△ 842,589 千円	△ 821,088 千円
⑥資本金	2,187,500 千円	2,187,500 千円	2,187,500 千円
⑦純資産	1,330,528 千円	1,344,911 千円	1,366,412 千円
⑧長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①市からの補助金	0 千円	0 千円	0 千円
②市からの委託料（指定管理料含む）	0 千円	0 千円	0 千円
③市に対する収入依存度	0.00 %	0.00 %	0.00 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和2年度事業費
仙台国際港物流ターミナル	仙台国際港物流ターミナルの賃貸	46,290 千円
その他の事業	社有地（シャーシ用地）の貸付	2,759 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	国際拠点港湾である仙台港は、東北地方における広域物流拠点として今後も重要な地域である。仙台港の機能充実、港湾物流の効率化の推進に向けて、当社の提供するサービスは大きな役割を果たしている。	今後も物流ターミナル賃貸事業等の安定的運営を通じ、仙台港における貨物の物流高度化・流通促進を果たしていただきたい。
2. 業務・組織管理	東日本大震災の津波被害により、受託事業及び県営中野上屋における保税倉主事業の廃止など、事業の縮小を余儀なくされたが、継続する事業の適正な管理、運営、機能維持のために、必要最小限の人員で効率的な業務の執行に努めている。	今後も事業規模・内容に応じた簡素かつ効率的な組織運営を実施していただきたい。
3. 財務状況	平成24年度の固定資産（ビジネスサポートセンター）の売却により経営が改善し、平成26年度から7期連続単年度黒字となっている。今年度以降も安定した利益の確保が見込まれることから、財務状況は引き続き改善に向かう。	ビジネスサポートセンター売却等による財務体質の改善が図られたことから、今後は物流ターミナル賃貸事業等を通じた安定的な財務状況を継続していただきたい。
4. 今後の方向性及び課題	コンテナ貨物取扱量のさらなる拡大が期待されるなど、東北唯一の国際拠点港湾として発展する仙台港の物流の効率化に資するため、物流ターミナル事業等の円滑な事業運営に努めながら、当面は経営の安定と財政基盤の強化を図り、将来的には、経済環境・事業環境を見極めながら港湾管理者等、関係者ともよく協議し、経営改善の方策や新たな事業展開等も検討していく。	物流ターミナル賃貸事業等の安定的運営により仙台港の港湾物流の円滑化に寄与いただくとともに、将来的な事業のあり方について、本市を含む関係者と協議していただきたい。